



平成26年2月28日

創薬ターゲット同定支援システム「TargetMine」の販売開始のお知らせ

独立行政法人医薬基盤研究所
三菱スペース・ソフトウェア株式会社

三菱スペース・ソフトウェア株式会社（以下「MSS」という。）は、独立行政法人医薬基盤研究所（以下「基盤研」という。）のバイオインフォマティクスプロジェクト（プロジェクトリーダー：水口賢司）が開発した創薬ターゲット同定支援システム「TargetMine」の販売を2月28日から開始しますので、お知らせいたします。

「TargetMine」は、創薬に関するデータベースから自由度高く情報を引き出すことが可能なシステムですが、データモデルに関して拡張性が高く、新たなタイプのデータを加えた検索も簡単に実行可能です。

既存の「TargetMine」に、ユーザー独自のデータを加えてオリジナルな「TargetMine」を構築することで、実験データから新たな発見をするプロセスを飛躍的に加速させることができます。

MSSでは、「TargetMine」の販売、システム導入、保守サービスに加え、このようなカスタマイズサービスも行います。

詳細については、以下のMSSのHPを御覧ください。

<http://www.mss.co.jp/businessfield/bioinformatics/solution/products/targetmine/index.html>

なお、大学の研究者等による非商用目的での「TargetMine」の利用は、基盤研のWebサイト（<http://targetmine.nibio.go.jp>）で引き続き可能です。

【本件に関するお問い合わせ先】

- ・独立行政法人医薬基盤研究所
バイオインフォマティクスプロジェクト
TEL:072-641-9890
e-mail:kenji@nibio.go.jp
- ・三菱スペース・ソフトウェア株式会社
営業本部 第二営業部
TEL:06-4961-8825
e-mail:MSSbio-sales@cbo.mss.co.jp

(ご参考)

・「TargetMine」について

創薬研究の過程でターゲットとなる多数の候補遺伝子や候補蛋白質関連情報を検索し、対象候補の絞り込みを支援する統合データウェアハウスです。

国際的に広く使用されている蛋白質関連データベース (DB) 「UniProt」 や米国の遺伝子関連 DB 「EntrezGene」、欧州の医薬品関連 DB 「ChEMBL」 など、海外の主要な 30 以上のライフサイエンス関連 DB からのデータを統合しており、既存の公共ツールでは不可能だった、蛋白質立体構造や医薬品関係データ、転写因子とその作用遺伝子の関係などの情報を統合的に検索できます。

また、定型的な検索クエリーが多数用意されていることに加えて、Web インターフェースを用いて、異なったデータ型を発見的に結びつける複合的な検索を自由に実行することができます。

・「TargetMine」によるこれまでの成果及び今後の展望について

C 型肝炎その他の疾患に対する新規ターゲット候補遺伝子の絞り込みとその実験的証明に応用されてきました (文献 1-3 等)。

今後は、マイクロ RNA 関連など新規データの統合やトキシコゲノミクスデータ解析プラットフォーム (Toxygates) との連携を強化すると共に、ターゲットのネットワークから化合物のネットワークまで複数のネットワークを統合する、新たな創薬プロセス構築のための基盤技術としての活用を目指していきます。

文献 1) Tripathi, L. P., et al., (2013) *J Proteome Res*, 12, 2537-51.

文献 2) Tripathi, L. P., et al., (2012) *J Proteome Res*, 11, 3664-79.

文献 3) Tripathi, L. P., et al., (2010) *Mol Biosyst*, 6, 2539-53.